



テーマ： (地区アンケートで皆さんの希望が多かった)

**「子どもが増えて活気があふれるため」
「多世代交流を大切にするために」にできること**

■宅地を増やすのではなく、暮らしを大切にして、自然と人が増えるまち

今住んでいる人、今ある資源を大切にした暮らしを継続することで、自然と人や交流は増える。増やそうと思って無理に進めるものではない

■(昔からの強み)人とのつながりを大切に、地域で子育てを支える

先輩たちが進めてきた、人とのつながりを大切に、地域で助け合う経験を、これからの時代も大切にしていきたい。

■子育て・教育環境の良さを、住民ももっと知って伝えよう

鷹栖町では子育てや教育環境にが充実しているという魅力を、住んでいる人や教育に関わっている人がもっと知って、伝えていこう！

■コミュニティスクール&コミュニティタウン

住民自らの「自助」の力で地域づくりを進め、行政はその支援を行う。そうすれば町民の暮らしが輝き、子育て世代や交流が自然と増えることにつながる！

■住民自らが鷹栖町の良さを認識し、PRすることで人を増やす！

役場職員がPRをするのは当たり前。住んでいる住民自らが町の良さをあらためて認識して、知人などにPRしていこう！

■10年後、子どもたちの声が身近で聞こえるまちであってほしい！

■町内会活動に子どもから高齢者まで参加する仕掛けづくりを

花壇整備や清掃活動など、参加者が少ないからといってやめるのではなく、子どもから高齢者まで参加する仕掛けづくりをすれば、多世代交流が実現！

■総合型スポーツクラブで子どもが伸び伸び活動できる場を！

少年団など子どもの活動が盛んなことは鷹栖町の魅力。伸び伸び活動できる環境として、総合型があると理想的。

■子どものころから町の良さを知る教育をして郷土愛を育む

子どもの頃から鷹栖町の良さを知って愛着を持てば、将来Uターンなどにつながる。

■住民のつながりがある地域が、子育てでも安心感につながる

普段から人が集まり、助け合うような地域のつながりがあるので、子育て世代が入ってきて安心して暮らせる。シニアベビーシッターなどで直接関わったり、遠くから見守りながら支える方法もある。

■子育て世代と高齢者が、お互いのちょっとした困りごとを解決しあう！

「お母さんが子ども預けてはびねすのお風呂でゆっくりリラックス」「(高齢者の) 電球交換などのサポート」「カフェでの抱っこ交流」「(仕事で夕飯が遅くなり大変) 地域食堂」など、お互いに困りごとを解決できる場ができたらいいな！旭川のさぼねっとではなく、身近でつながれる「鷹栖版ファミリーサポート」

■子育てひと段落・定年退職などの節目で交流を促す仕掛けづくり

人生の節目を契機にライフスタイルが変わる人が多いので、そのタイミングで地域交流、地域参加を促すような仕掛けづくりを！

■「子育てサポートマーク」のお店・お家が地域にあるといい

子どもや子育て世代の居場所。



たくさんのすてきなご意見、ありがとうございました！